

おおてみち

第75号

平成23年(2011年)3月31日
滋賀県立安土城考古博物館

昭和三七年銅鐸発見時銅鐸出土状況復元写真



会期
平成23年4月23日(土)
～6月12日(日)

大岩山銅鐸から
見えてくるもの

平成二三年度春季特別展

主催 滋賀県立安土城考古博物館
野洲市歴史民俗博物館
協力 大阪府立弥生文化博物館



休館日 : 月曜日(ただし5/2は開館)
開館時間 : 午前9時から午後5時
※ただし入館は午後4時30分まで
入館料 : 大人860円(660円)
高大生610円(450円)
小中生400円(300円)
県内高齢者460円(340円)
※()内は20人以上の団体料金です。
※【信長の館】との共通券もあります。

大岩山 昭和三七年出土銅鐸(当館蔵)

第二回滋賀・大阪博物館
連携企画「銅鐸を探る」



第二回 滋賀・大阪博物館連携企画「銅鐸を探る」
平成三三年度春季特別展

『大岩山銅鐸から見えてくるもの』

野洲市大岩山で銅鐸が最初に発見されたのは、明治一四年(一八八二)の夏、遊びにきた二人の少年によってであり、それを契機に一四個の銅鐸が掘り出されました。本年はそれから一三〇年目に当たります。この時発見された銅鐸は、東京帝室博物館(現東京国立博物館)に二個が収められたほかは、地元払い下げられ、その多くが海外も含め流出するところとなっています。その後昭和三七年(一九六二)の初夏に、新幹線の土取り工事で新たに一〇個の銅鐸が発見され、関係者の努力もあって、現在は当館に保管されています。

これらの二四個の銅鐸は、全て突線紐式で、用された地域の異なる多様な銅鐸が一括埋納されていました。しかも出土状況についての証言や銅鐸の砂の付着状況などから、大・中・小の三個が入れ子状態で埋納されていた可能性が高いと考えられています。

本展では、この大岩山銅鐸の特質を明らかにするため、同時代に使用・埋納された銅鐸や、複数出土の銅鐸を、可能な限り集めて検討することにしました。「大岩山銅鐸」を取り巻く問題点や歴史の意義について改めて考えます。

主な展示資料(予定)

- 大岩山銅鐸出土地出土銅鐸(重文・当館蔵ほか)
- 桜ヶ丘遺跡出土銅鐸(国宝・神戸市立博物館蔵)
- 比丘尼城出土銅鐸(重文・梅林寺蔵)
- 高塚遺跡出土銅鐸(重文・岡山県立古代吉備文化財センター蔵)
- 安都真出土銅鐸(徳島県指定・個人蔵)
- 前原Ⅷ遺跡出土銅鐸(静岡県指定・浜松市博物館蔵)

○敷地西の谷出土銅鐸(静岡県指定・静岡県教育委員会蔵)
 ○大福遺跡出土銅鐸(奈良県桜井市教育委員会蔵)
 ○伊勢遺跡出土資料・下長遺跡出土資料(滋賀県守山市教育委員会蔵)

関連行事

●特別展記念講演会

五月三日(火祝)「大岩山銅鐸から見えてくるもの」
 講師：難波洋三氏(奈良文化財研究所)

●滋賀・大阪博物館連携企画特別講演会

五月二九日(日)「大岩山銅鐸の発見」
 講師：水野正好氏(奈良大学名誉教授)

●博物館講座

五月八日(日)「大岩山銅鐸の埋納をめぐる問題」
 講師：木戸雅寿氏(滋賀県教育委員会)

五月一五日(日)「ヤマト王権と近江」
 大岩山銅鐸埋納事情

講師：寺沢 薫氏(奈良県立橿原考古学研究所)

六月一二日(日)「大岩山銅鐸と東海」
 講師：進藤 武氏(野洲市教育委員会)

●滋賀・大阪博物館ジョイントセミナー

六月五日(日)「豊饒をもたらす響き 銅鐸
 ―銅鐸からみる弥生中期社会―」
 講師：正岡大実氏(大阪府立弥生文化博物館)

※講演会講座セミナーの会場は当館 階セミナー、開演は二時三〇分から。

●体験博物館

五月二三日(日)「銅鐸を観察してみよう!!」

※事前申込必要 四月二日から受付開始



(財) 滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

盛況「あの遺跡は今! パート12」

二月二〇日に開催した「あの遺跡は今!」には、五〇〇人を超えるたくさんの方にご来場いただきました。今回は、「縄文人のくらし」出土品からみた縄文人の生と死」をテーマに最新の整理調査成果をお届けしたほか、今年度整理調査を行っている遺跡の展示・解説、実際の土器を使った拓本体験、オリジナル土偶ストラップ製作、展示品のクイズラリーなどを行いました。いずれもホンモノを間近で見、触れ、すぐに調査員の話が聞け、実際の整理作業やプリカ製作を体験することができたと、好評をいただきました。

調査整理課では、毎年夏と冬の二回、皆様に調査成果を還元し、埋蔵文化財を身近に感じていただくために、こうした催しを行っています。次回は七月二四日(日)に開催予定です。ぜひお越しいただき、なるほど実は身近な文化財を体感してください。



収蔵資料紹介

惣見寺由緒書

江戸時代

二八・一cm×一九・八cm

近江八幡市安土町惣見寺蔵

安土山中にある織田信長の菩提寺・惣見寺の由緒を書いた資料は以前（『おおてみち』第七号）で紹介しましたが、今回は別の由緒書を別の視点で取りあげましょう。



その視点とは、現在大河ドラマで注目を集めている「浅井江」です。ドラマではさまざまな歴史

的事件に登場して大活躍の江ですが、実は生涯を通じて具体的に江の動向がわかる資料はほとんど残されていません。同時代はもちろん、時代が下っても同様で、徳川家二代将軍秀忠の妻で三代将軍家光の母というのに、本当に不思議です。

実はこの由緒書の中に、江の足跡が見られます。崇源院（江の法名）が幕臣の西尾吉次を奉行に命じて惣見寺の諸堂を修復したと云うのです。その前に、豊臣秀頼が堂塔を造営したことが書かれていることや、吉次が慶長四年（一五九九）に隠岐守となり、同一一年に亡くなっていることから、修復のおよその時期が推測できます。

もちろん由緒書は後の時代に書かれたものなので、確証はありません。しかし「総見禪寺縁会名簿」という惣見寺が江戸時代を通じて公式に供養を営むべき日と対象を記した資料（惣見寺蔵）には、江の命日である九月一五日に、「崇源院殿仁清昌誉大禪定尼」の名が記されています。理由は「大將軍家光御母儀」とのことですが、他の歴代將軍の母は全く供養されていません。やはりここに江の名が見えるのは、諸堂修復の縁があったためなのでしょう。伯父信長の菩提寺だからか姉澁と秀頼の造営を引き継いだのかはわかりませんが、江が惣見寺や織田一族を大切に思っていたのではないかと思われれます。

（高木叙子）

史跡観音寺城跡の発掘調査

平成二二年一〇月から実施している今年度の史跡観音寺城跡の発掘調査では、伝本丸跡へ通じる石段通路の下部、地形が谷状になり石段通路の延長部分ではないかと想定される部分約三〇〇mの範囲を対象地として伐採・清掃し、合計約三四mの三箇所を調査区を設定しました。範囲が限られたため全体の形状等は不明ですが、石垣・通路と考えられる遺構を検出しました。

谷状地形に直交する石垣が存在することから、この部分は伝本丸跡からの石段通路の延長部分ではないことが判明し、伝本丸跡が下方の伝お花井戸郭とは直接つながらないことを確認しました。この調査結果からは、山麓からの経路には南側の本谷から進入するものはなかったものと推定され、従来の想定とは異なる構造を観音寺城が有していた可能性が高くなったといえます。



（参考URL http://www.pref.shiga.jp/hodo/e-shinbun/ma07/20110316_1.html）

博物館の主な催し

4月	23(土)	スライド発表会 「観音寺城最新情報」 午後1時30分～ 先着：140名 場所：セミナールーム 無料
	～24(日)	特別公開「平成22年度滋賀県新指定文化財」 入館料が必要 場所：第2常設展示室
	26日(火)～ 6月5日(日)	テーマ展「摠見寺所蔵名品展」 入館料が必要 場所：第2常設展示室
5月	29(祝・金)	春のお茶会（当日受付、約100名） 午前10時30分～午後3時 場所：当館エントランスホール お茶・お菓子代：300円
	3日(火・祝)	特別展記念講演会「大岩山銅鐸から見えてくるもの」 13時30分～15時（先着140名） 講師：難波 洋三氏（奈良文化財研究所） 無料 場所：セミナールーム
	4日(水・祝)	第19回 近江風土記の丘を描こう！！親子写生大会 午前10時30分～午後4時 場所：「近江風土記の丘」内の各地 受付：当館玄関前（正午まで） ※雨天の場合 5月5日(木・祝)に順延 ※写生大会作品展示 6月22日(水)～7月3日(日)
	5日(木・祝)	体験博物館「勾玉をつくろう!!」 ①午前10時～ ②午後1時30分～（1日2回） 参加費：500円 場所：多目的広場 定員：各30名（先着順） 要事前申込：予約受付開始4月5日（火）～
	8日(日)	博物館講座「大岩山銅鐸の埋納をめぐる問題」 13時30分～15時（先着140名） 講師：木戸 雅寿氏（滋賀県教育委員会） 無料 場所：セミナールーム
	15日(日)	博物館講座「ヤマト王権と近江 ー大岩山銅鐸埋納事情ー」 13時30分～15時（先着140名） 講師：寺沢 薫氏（奈良県立橿原考古学研究所） 無料 場所：セミナールーム
	22日(日)	体験博物館「銅鐸を観察してみよう!」 午後1時30分～ 参加費未定 場所：当館会議室 定員：20名（先着順） 要事前申込：予約受付開始4月22日（金）～
	29日(日)	特別講演会「大岩山銅鐸の発見」 13時30分～15時（先着140名） 講師：水野 正好氏（奈良大学名誉教授） 無料 場所：セミナールーム
	6月	5日(日)
12日(日)		博物館講座「大岩山銅鐸と東海」 13時30分～15時（先着140名） 講師：進藤 武氏（野洲市教育委員会） 無料 場所：セミナールーム
7月	7月16(土)～ 9月25日(日)	第42回企画展・滋賀県文化財保護協会調査成果展「大国近江の壮麗な国府」

平成23年4月23日(土)～6月12日(日)
第2回滋賀・大阪博物館連携企画「銅鐸を探る」
平成23年度春季特別展「大岩山銅鐸から見えてくるもの」

おおてみち 第75号

平成23年（2011年）3月31日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424
E-mail:gakugei@azuchi-museum.or.jp URL <http://www.azuchi-museum.or.jp>